

【2018年11月3日～2018年11月9日までの推移】

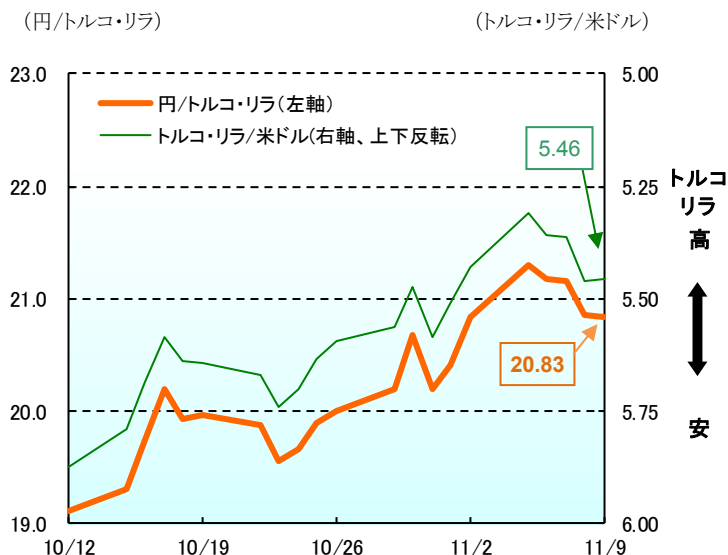
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともにほぼ横ばいとなりました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は市場が米国の中間選挙に注目するなか、トルコ・リラは終始小動きとなり、対米ドル・対円ともにほぼ横ばいとなりました。国債金利はリスクセンチメントの改善が続き、低下しました。

経済指標では10月のCPI(消費者物価指数)が市場予想を上回りましたが、市場の反応は限定的でした。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年10月12日～2018年11月9日)



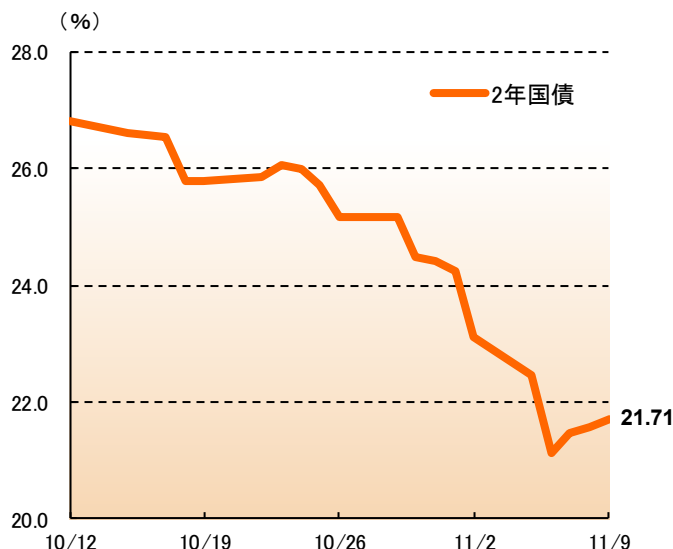
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

トルコ国内では、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果の確認を待つ局面が続きそうです。米国との関係は、米国人牧師の解放以降改善が進んでいます。目先のトルコ・リラ相場は、市場のリスクセンチメントに左右されるとみえています。

今週は英国の欧州連合離脱交渉が大詰めを迎え、イタリアの予算案の再提出期限もあることから、市場の注目は欧州に集まりそうです。

【トルコ 金利推移】 (2018年10月12日～2018年11月9日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>